

## 8. 学術委員会報告

学術委員会から日本数学会季期研究所 (MSJ-SI = Mathematical Society of Japan, Seasonal Institute) について報告いたします.

●2021 年度の第 14 回日本数学会季期研究所 (MSJ-SI) は, テーマを「New Aspects of Teichmüller Theory」, 組織委員長を大鹿健一氏 (学習院大学) として, 2022 年の Lecture series に引き続き, Conference が 2023 年 7 月 10 日~14 日に東京大学において開催される予定です. (新型コロナウイルス感染症の影響で開催時期が延期になりました.) 詳しくは, 以下のサイトをご覧ください.

<https://sites.google.com/view/msj-si-teichmuller/home>

●2023 年度の第 16 回日本数学会季期研究所 (MSJ-SI) は, テーマを「楕円可積分系, 表現論, 超幾何関数 (Elliptic Integrable Systems, Representation Theory and Hypergeometric Functions)」, 組織委員長を今野均氏 (東京海洋大学) として, School が 2023 年 7 月 26 日~28 日に東京海洋大学において, Workshop が 2023 年 7 月 31 日~8 月 4 日に東京大学において開催される予定です. 詳しくは, 以下のサイトをご覧ください.

<https://sites.google.com/view/msj-si-2023/home>

●2024 年度の第 17 回日本数学会季期研究所 (MSJ-SI) は, テーマを「多重ゼータ値の深化と広がり (Developments of multiple zeta values)」, 組織委員長を金子昌信氏 (九州大学) として, 連続講義が 2025 年 2 月 10 日から 15 日まで九州大学において, シンポジウムが 2025 年 2 月 17 日から 22 日まで近畿大学において開催される予定です.

●2023 年 5 月末日が締切であった 2025 年度 MSJ-SI の公募に対し, 1 件の応募がありました. 現在学術委員会において審議を行っております.

(学術委員長 河澄響矢 記)